

勅令第 號

遞信院官制

第一條 遞信院ハ内閣總理大臣ノ管理ニ屬シ郵便、電氣通信、郵便爲替、郵便貯金、簡易生命保險、郵便年金及此等ノ附帶業務竝ニ年金恩給ノ支給其ノ他國庫金ノ受入拂渡ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 遞信院ニ總裁官房及左ノ六局ヲ置ク

總務局

業務局

工務局

通信監督局

貯金保險局

電波局

第三條 總裁官房ニ於テハ人事、文書及行政考査ニ關スル事務並ニ他ノ主管ニ屬セザル事務ヲ掌ル

第四條 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 所管行政ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ關スル事項

二 豫算、決算並ニ會計及其ノ監査ニ關スル事項

三 國有財産及物品ニ關スル事項

四 従事員ノ給與、厚生及養成ニ關スル事項

五 遞信博物館ニ關スル事項

第五條 業務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便及其ノ附帶業務ニ關スル事項

二 電氣通信及其ノ附帶業務ニ關スル事項

三 國際電氣通信株式會社ニ關スル事項

第六條 工務局ニ於テハ通信施設ノ建設及保存ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 通信監督局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便及電氣通信ノ檢閲ニ關スル事項

二 電波ノ監視ニ關スル事項

第八條 貯金保險局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便爲替、郵便貯金及此等ノ附帶業務ニ關スル事項

二 簡易生命保險、郵便年金及此等ノ附帶業務ニ關スル事項

三 年金恩給ノ支給其ノ他國庫金ノ受人拂渡ニ關スル事項

第九條 電波局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 電波統制ニ關スル事項
- 二 電波技術ニ關スル事項
- 三 標準電波竝ニ標準電波施設ノ建設及保存ニ關スル事項
- 四 無線電氣通信及其ノ附帶業務ニ關スル事項但シ公衆通信ニ關スル事項ヲ除ク

第十條 遞信院ニ左ノ職員ヲ置ク

- 總裁 親任
- 次長 一人 勅任
- 局長 六人 勅任
- 祕書官 專任一人 奏任

- 書記官 專任三十四人 奏任
- 事務官 專任百十四人 奏任
- 檢閱官 專任十二人 奏任
- 技師 專任百二十六人 奏任
内五人ヲ勅任ト
爲スコトヲ得
- 醫官 專任五十四人 奏任
内一人ヲ勅任ト
爲スコトヲ得
- 調劑官 專任一人 奏任
- 屬 專任五千五百七十八人 判任
- 檢閱官補 專任百九人 判任
- 技手 專任四百八人 判任
- 醫官補 專任二十三人 判任

調劑官補

專任十五人

判任

屬補

專任五千九十四人

判任

六

第十一條 前條ノ職員ノ外遞信院ニ遞信手ヲ置ク判任官ノ待遇トス

第十二條 總裁ハ院務ヲ統理シ所部ノ職員ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第十三條 次長ハ總裁ヲ佐ケ院務ヲ掌理ス

第十四條 局長ハ總裁ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十五條 祕書官ハ總裁ノ命ヲ承ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル

第十六條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十七條 檢閱官ハ上官ノ命ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ檢閱又ハ電波ノ監視ニ關スルコトヲ掌ル

第十八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十九條 醫官ハ上官ノ命ヲ承ケ醫務ヲ掌ル

第二十條 調劑官ハ上官ノ命ヲ承ケ調劑ヲ掌ル

第二十一條 屬及屬補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第二十二條 檢閱官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ檢閱又ハ電波ノ監視ニ關スルコトニ從事ス

第二十三條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第二十四條 醫官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ醫務ニ從事ス

第二十五條 調劑官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ調劑ニ從事ス

第二十六條 遞信手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

第十一條及前項ニ規定スルモノノ外遞信手ニ關スル規程ハ總裁之ヲ定ム

第二十七條 第十條及第十一條ノ職員ノ外郵便若ハ電氣通信ノ檢閱又ハ電波ノ監視ニ關スルコトヲ掌ラシ

七

八
ムル爲内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ檢閱官ヲ命ズルコトヲ得

第二十八條 遞信院ニ海底線工事事務所ヲ置キ海底線ノ布設及保存工事ヲ掌ラシム

海底線工事事務所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十九條 遞信院ニ工作所ヲ置キ通信用機器ノ工作ヲ掌ラシム

工作所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三十條 總裁ハ必要ト認ムル地ニ電氣通信建設事務所ヲ置キ電氣通信施設ノ建設ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

電氣通信建設事務所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三十一條 總裁ハ必要ト認ムル地ニ貯金保險局ノ支局ヲ置キ貯金保險局ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

支局長ハ書記官又ハ事務官ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ遞信院職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ遞信院書記官ハ遞信院書記官

ニ、遞信院事務官ハ遞信院事務官ニ、遞信院檢閱官ハ遞信院檢閱官ニ、遞信院技師ハ遞信院技師ニ、遞信

院醫官ハ遞信院醫官ニ、遞信院調劑官ハ遞信院調劑官ニ、遞信院屬ハ遞信院屬ニ、遞信院檢閱官補ハ遞信

院檢閱官補ニ、遞信院技師ハ遞信院技師ニ、遞信院醫官補ハ遞信院醫官補ニ、遞信院調劑官補ハ遞信院調

劑官補ニ、遞信院屬補ハ遞信院屬補ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ遞信院職員ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ

遞信院職員ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

參照

○通信院 遞信院官制

昭和十八年
勅令第八百三十一號

第一條

通信院 遞信院ハ運輸通信大臣 内閣總理大臣ノ管理ニ屬シ郵便、

電氣通信、郵便爲替、郵便貯金、簡易生命保險、郵便年金及此等ノ

附帶業務竝ニ年金恩給ノ支給其ノ他國庫金ノ受入拂渡ニ關スル事務

ヲ掌ル

第二條

通信院 遞信院ニ總裁官房及左ノ六局ヲ置ク

總務局

業務局

工務局

通信監督局

貯金保險局

電波局

第三條 總裁官房ニ於テハ人事、文書及行政考査ニ關スル事務並ニ他ノ主管ニ關セザル事務ヲ掌ル

第四條 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 所管行政ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ關スル事項

二 豫算、決算並ニ會計及其ノ監査ニ關スル事項

三 國有財産及物品ニ關スル事項

四 従事員ノ給與、厚生及養成ニ關スル事項

五 遞信博物館ニ關スル事項

第五條 業務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便及其ノ附帶業務ニ關スル事項

二 電氣通信及其ノ附帶業務ニ關スル事項

三 國際電氣通信株式會社ニ關スル事項

第六條 工務局ニ於テハ通信施設ノ建設及保存ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 通信監督局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便及電氣通信ノ檢閲ニ關スル事項

二 電波ノ監視ニ關スル事項

第八條 貯金保險局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便爲替、郵便貯金及此等ノ附帶業務ニ關スル事項

二 簡易生命保險、郵便年金及此等ノ附帶業務ニ關スル事項
三 年金恩給ノ支給其ノ他國庫金ノ受入拂渡ニ關スル事項

第八條ノ二第九條 電波局ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 電波統制ニ關スル事項

二 電波技術ニ關スル事項

三 標準電波並ニ標準電波施設ノ建設及保存ニ關スル事項

四 無線電氣通信及其ノ附帶業務ニ關スル事項但シ公衆通信ニ關ス

ル事項ヲ除ク

第九條 第十條 通信院 遞信院ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁

勅任 親任

次長 一人

勅任

局長 六人

勅任

秘書官 專任一人

奏任

書記官 專任三十四人

奏任

事務官 專任百十四人

奏任

檢閱官 專任十二人

奏任

技師 專任百二十六人

奏任

醫官 專任五十四人

奏任

調劑官 專任一人

奏任

屬 專任五千五百七十八人

判任

検閲官補	専任百九人	判任
技手	専任四百八人	判任
醫官補	専任二十三人	判任
調劑官補	専任十五人	判任
屬補	専任五千九十四人	判任

總裁ニハ親任官ノ待遇ヲ賜フコトアルベシ

第十條 第十一條 前條與一項ノ職員ノ外通信院逓信院ニ逓信手ヲ置ク

判任官ノ待遇トス

第十一條 第十二條 總裁ハ逓信院通信大臣ノ指揮監督ヲ承テ院務ヲ統理シ所部ノ職員ヲ指揮監督シ判任員以下ノ進退ヲ專行ス

第十三條 次長ハ總裁ヲ佐ケ院務ヲ掌理ス

第十二條 第十四條 局長ハ總裁ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十五條 秘書官ハ總裁ノ命ヲ承ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル

第十三條 第十六條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十四條 第十七條 検閲官ハ上官ノ命ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ検閲

又ハ電波ノ監視ニ關スルコトヲ掌ル

第十五條 削除

第十六條 第十八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十六條 第十九條 醫官ハ上官ノ命ヲ承ケ醫務ヲ掌ル

第十六條 第二十條 調劑官ハ上官ノ命ヲ承ケ調劑ヲ掌ル

第十七條 第二十一條 廳及屬補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第十八條 第二十二條 檢閱官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信

ノ檢閲又ハ電波ノ監視ニ關スルコトニ従事ス

第十九條 第二十三條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第十九條ノ二第二十四條 醫官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ醫務ニ従事ス

第十九條ノ三第二十五條 調劑官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ調劑ニ従事ス

第二十條 第二十六條 遞信手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務又ハ技術ニ従事

ス

第十條 第十一條 及前項ニ規定スルモノノ外遞信手ニ關スル規程ハ總

裁之ヲ定ム

第二十一條 第二十七條 第九條 第十條 第十一條 及第十二條ノ職員

ノ外郵便若ハ電氣通信ノ檢閲又ハ電波ノ監視ニ關スルコトヲ掌ラシ

ムル爲運轉通信大臣 内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中

ヨリ内閣ニ於テ檢閱官ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 第二十八條 通信院 遞信院ニ海底線工事事務所ヲ置キ海底

線ノ布設及保存工事ヲ掌ラシム

海底線工事事務所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條ノ二 第二十九條 通信院 遞信院ニ工作所ヲ置キ通信用機器

ノ工作ヲ掌ラシム

工作所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十三條 第三十條 線裁ハ必要ト認ムル地ニ電氣通信建設事務所ヲ

置キ電氣通信施設ノ建設ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

電氣通信建設事務所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十四條 第三十一條 線裁ハ必要ト認ムル地ニ貯金保蔵局ノ支局ヲ

置キ貯金保蔵局ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

支局長ハ書記官又ハ事務官ヲ以テ之ニ充ツ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ通信院職員ノ職ニ在ル者別ニ解令ヲ發セラレザルト

キハ通信院書記官ハ遞信院書記官ニ、通信院事務官ハ遞信院事務官ニ、
通信院検閱官ハ遞信院検閱官ニ、通信院技師ハ遞信院技師ニ、通信院
醫官ハ遞信院醫官ニ、通信院調劑官ハ遞信院調劑官ニ、通信院屬ハ遞
信院屬ニ、通信院検閱官補ハ遞信院検閱官補ニ、通信院技師ハ遞信院
技師ニ、通信院醫官補ハ遞信院醫官補ニ、通信院調劑官補ハ遞信院調
劑官補ニ、通信院屬補ハ遞信院屬補ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタル
モノトス

本令施行ノ際現ニ通信院職員ニシテ休職中ノモノ別ニ解令ヲ發セラレ
ザルトキハ休職ノ満前項ノ例ニ依リ遞信院職員ニ同官等俸給ヲ以テ任
セラレタルモノトス

各省官制通則外七勅令中改正ノ件外一件

審査報告

秘

今回御諮詢ノ各省官制通則外七勅令中改正ノ
件及通信院官制改正ノ件ニ付本官等審査委員
ヲ命ゼラレ本月九日委員會ヲ開キ當局大臣及
關係諸官ノ辯明ヲ聽キ以テ之ガ審査ヲ遂ゲタ
リ
當局大臣ノ説明ニ依レバ運輸通信省ハ昭和十
八年十一月新設以來運輸及通信ノ兩者ヲ司掌
シ來レルガ政局ノ進展ニ伴ヒ其ノ所管行政ハ

著シク重要性ヲ加ヘ其ノ施策ノ適否ハ直ニ戰
勢ニ至大ノ影響ヲ及ボスニ到レリ而シテ運輸
ト通信トハ其ノ間必ズシモ關聯ナキニ非ザル
モ之ヲ一括シ一省ニ於テ所管セシムルハ事務
ノ甚シキ複雑ヲ來スト共ニ其ノ機構亦尨大ニ
過ギ行政運営ノ適切ヲ期シ難キモノアルニ由
リ此ノ際從來ノ實績ニモ徴シ運輸通信省ヲ運
輸省ト改メ同省ニ於テハ專ラ運輸行政ヲ掌ラ
シメ以テ輸送能率ノ發揮ニ全力ヲ注ガシムル
コトトシ之ト同時ニ同省所管トシテ通信行政

ヲ司掌セル通信院ヲ内閣ニ移スト共ニ其ノ名
稱ヲ遞信院ト改メ同院ノ總裁ハ之ヲ親任官ト
シ業務施行ニ關スル其ノ責任ヲ強化シ以テ通
信施策ノ實施ヲ迅速強力ナラシムルコトトシ
以上兩々相俟テ運輸通信ニ對スル現下ノ要
請ニ即應セシメントス仍テ今回政府ニ於テハ
本案二件ヲ立案シ本院ノ御諮詢ヲ奏請シタル
モノナリ
次ニ本案ノ要旨ヲ説明スレバ左ノ如シ
第一 各省官制通則外ニ勅令中改正ノ件

本件ハ運輸通信省ヲ運輸省ト改稱シ及通信院ヲ遞信院ト改稱ノ上内閣ニ移管セシガ爲各省官制通則運輸通信省官制海員審判所職員ノ定員及任用ニ關スル規程特定ノ官ノ特別任用ニ關スル規程商船學校及商船專門學校ニ關スル規程並ニ船舶及造船事務ノ所管等ノ戰時特例ニ關スル規程中ニ所要ノ改正ヲ施スト共ニ本令施行ノ際運輸通信書記官等ノ諸官ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ同官等俸給ヲ以テ運輸書記官等ニ任ゼ

ラレタルモノト爲サントスルモノナリ

第二 通信院官制改正ノ件

本件ハ形式上現行通信院官制ノ全部改正ナルモ實質上ハ少許ノ改正ニ過ギズ今其ノ主ナル改正點ヲ擧グルバ(一)通信院ヲ遞信院ト改稱シ運輸通信大臣ノ管理ヨリ内閣總理大臣ノ管理ニ移シ(第一條第二條新第十條同第九條)(二)總裁ハ從前勅任トシ親任ノ待遇ヲ賜フコトアルベキモノトセルヲ親任ト改メ新ニ次長(勅任)及秘書官(勅任)各一名ヲ置キ其ノ職掌

ヲ定ムル(新第十條同第十三條及同第十五條)ノ諸點ニシテ其
ノ他本令施行ノ際通信院書記官等ノ諸官ニ
在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ同官
等俸給ヲ以テ遞信院書記官等ニ任セラレタ
ルモノト爲サントスルモノナリ(附別第二項及第三項)
按ズルニ本案ノ二件ハ現戦局ノ要請ニ鑑ミ運
輸通信兩行政ノ能率ヲ一層昂上セシメンガ爲
運輸通信省ノ機構ヲ改組スルコトヲ主眼トス
ルモノニシテ已ムヲ得ザルモノト認ムルノ外
ナシ仍テ審査委員會ニ於テハ本案ノ二件ハ孰

レモ此ノ儘可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以
テ議決シタリ

右審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年五月十日

審査委員長

樞密顧問官子爵石井菊次郎

審査委員

樞密顧問官

南 弘

樞密顧問官

小幡 商吉

樞密顧問官

三土 忠造

樞密顧問官

池田

成彬

樞密顧問官

泉二

新熊

樞密顧問官

百武

三郎

樞密院議長男爵平沼騏一郎殿